

製品安全データシート

整理番号： HIJ-FLU01-2A

作成： 2008/05/01

改訂： 2013/04/01

製品名： Ex-UV フラッシング液 -01

1. 化学物質等及び会社情報

製品名： Ex-UV フラッシング液 -01
会社名： コニカミノルタ株式会社
住所： 〒100-7015 東京都千代田区丸の内二丁目7番2号
担当部門： インクジェット事業部 品質保証部
(TEL:042-589-3739, FAX:042-589-3868)
作成部門： 社会環境統括部
(TEL:042-589-8167, FAX:042-589-8071)
緊急連絡先： 公益財団法人 日本中毒情報センター
(事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る)
中毒110番 一般市民専用電話
(大阪) 072-727-2499(情報料無料) 365日 24時間対応
(つくば) 029-852-9999(情報料無料) 365日 9時～21時対応

2. 危険有害性の要約

GHS分類

引火性液体	区分
急性毒性(経口)	区分外
皮膚腐食性/刺激性	区分外
眼損傷性/刺激性	区分外
	区分2A

GHSラベル要素

絵表示：



注意喚起語： 警告
危険有害性情報： 強い眼刺激
注意書き：
予防策： 4, 7章参照
対応： 4, 7章参照

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別： 混合物
成分及び含有量

成分名称	含有量 wt. %	CAS#	化審法	安衛法		化管法	毒劇法
			官報公示 番号	官報公示 番号	通知物質	指定物質	毒物劇物
グリコールエーテル化合物	50-75	---	既存	化審既存	非該当	非該当	非該当
環状エーテル化合物A	1-25	---	届出済	既存	非該当	非該当	非該当
環状エーテル(2)	1-25	---	既存	化審既存	非該当	非該当	非該当

製品安全データシート

整理番号：HIJ-FLU01-2A

作成：2008/05/01

改訂：2013/04/01

製品名：Ex-UV フラッシング液 -01

4. 応急措置

吸入した場合：	通常の条件下では曝露の可能性は少ない。もしも大量の蒸気、ミストを吸入した場合は、速やかに空気の新鮮な場所に移る。異常を感じた場合は医師の診察を受ける。
皮膚に付着した場合：	水および石鹼でよく洗う。
目に入った場合：	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合：	眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。 直ちに水で口をすすぎ、コップ1～2杯の水を飲ませる。医師の指示があった場合のみ吐かせる。医師の診察を受ける。意識のない場合は口から何も与えてはならないし、無理に吐かせようとしてはならない。

5. 火災時の措置

消火剤：	水噴霧、粉末、二酸化炭素、泡
使ってはならない消火剤：	情報なし。
特有の消火方法：	消火の際は自給式呼吸器具及び完全保護具を着用する。側面から水をかけて容器を冷却する。作業は安全な場所から行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置：	保護具を着用する（8章参照）。 立ち入り前に換気を行う。
環境に対する注意事項：	情報なし。
封じ込め、及び浄化の方法、機材：	盛土で囲って流出を防止する。
二次災害の防止策：	着火源となるものを速やかに取り除く。 火花を発生しない安全な用具を使用する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策：	取扱い後は手をよく洗うこと。
	局所排気・全体換気：	取り扱いには十分な換気の下で行う。
	注意事項：	情報なし。
	安全取扱い注意事項：	特になし。
保管	適切な保管条件：	容器は密閉し、避けるべき材料(10章参照)より遠ざけて乾燥した冷暗所に貯蔵する。
	安全な容器包装材料：	情報なし。

製品安全データシート

整理番号：HIJ-FLU01-2A

作成：2008/05/01

改訂：2013/04/01

製品名：Ex-UV フラッシング液 -01

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策：取扱いは密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。

許容濃度

成分名称	厚生労働省(安衛法)	日本産業衛生学会	ACGIH	
	管理濃度	許容濃度	TLV-TWA	TLV-STEL
グリコールエーテル化合物	未設定	未設定	未設定	未設定
環状エーテル化合物A	未設定	未設定	未設定	未設定
環状エーテル(2)	未設定	未設定	未設定	未設定

保護具

呼吸器の保護具：通常の条件下では必要なし。臭気が気になる場合は、防塵マスク（粉塵、ミスト用）を着用する。

手の保護具：不浸透性保護手袋

目の保護具：ゴーグル

皮膚及び身体の保護具：通常の下では必要なし。

9. 物理的及び化学的性質

製品

物理的状態：液体

形状：液体

色：無色

臭い：微エーテル臭

臭いの閾値：データなし

pH：データなし

融点・凝固点：データなし

沸点、初留点と沸点範囲：データなし

引火点：118℃（グリコールエーテル化合物）

自然発火温度：データなし

燃焼の範囲又は爆発範囲：データなし

蒸気圧：データなし

蒸気密度：データなし

蒸発速度：データなし

比重・密度：データなし

溶解性：水：0.3(wt%)（グリコールエーテル化合物）

n-オクタノール／水分配係数：データなし

分解温度：データなし

10. 安定性及び反応性

安定性：通常の下扱い条件では安定である。

危険有害反応可能性：情報なし

避けるべき条件：情報なし

混触危険物質：酸化剤

危険有害な分解生成物：一酸化炭素、二酸化炭素

製品安全データシート

整理番号：HIJ-FLU01-2A

作成：2008/05/01

改訂：2013/04/01

製品名：Ex-UV フラッシング液 -01

1 1. 有害性情報

製品

データなし

成分

グリコールエーテル化合物

急性毒性（経口）：LD50: 3900 mg/kg[ラット]

急性毒性（経皮）：LD50: 4040 mg/kg[ウサギ]

皮膚腐食性／刺激性：Mild [ウサギ]

眼に対する重篤な損傷性／刺激性：Mild [ウサギ]

生殖細胞変異原性（変異原性）：AMES試験:陰性

環状エーテル化合物A

急性毒性（経口）：LD50: 300～500 mg/kg[ラット]

皮膚腐食性／刺激性：Mild P.I. I=1 [ウサギ]

眼に対する重篤な損傷性／刺激性：Moderate [ウサギ]

皮膚感作性：None 0% Maximization法 [モルモット]

生殖細胞変異原性（変異原性）：AMES試験:陰性, 染色体異常試験:陽性, 小核試験:陰性

環状エーテル(2)

急性毒性（経口）：LD50: 34900 mg/kg[ラット], LD50: 20700 mg/kg[マウス]

急性毒性（経皮）：LD50: > 20 ml/kg[ウサギ]

皮膚腐食性／刺激性：Mild [ウサギ]

眼に対する重篤な損傷性／刺激性：Severe [ウサギ]

生殖細胞変異原性（変異原性）：AMES試験:陰性

1 2. 環境影響情報

製品

データなし

成分

環状エーテル化合物A

生態毒性

急性毒性（魚毒性）：96hrLC50:76mg/l[Rainbow trout]

急性毒性（ミジンコ毒性）：48hrNOEC:100mg/l[Daphnia magna]

急性毒性（藻類成長阻害）：NOEC(growth):>100mg/l

残留性／分解性：BOD=0 (28-Day Biodegradation), BOD=0 (28日 生分解)

生体蓄積性：ほとんど無し

1 3. 廃棄上の注意

廃棄方法：法律に従い廃棄すること。

そのまま、あるいは可燃性の溶剤に溶解又は混合し、焼却炉で焼却する方法が推奨される。

自社で焼却出来ない場合は、産業廃棄物であるため、産業廃棄物処理業の許可を受けた業者に処理を委託する。（特別管理産業廃棄物には該当しない）

製品安全データシート

整理番号：HIJ-FLU01-2A

作成：2008/05/01

改訂：2013/04/01

製品名：Ex-UV フラッシング液 -01

14. 輸送上の注意

国連分類 国連分類： ---
国連番号： ---
品名（国連輸送名）： ---
容器等級： ---

国内規制： 自動車/鉄道輸送は消防法の規定に従う。
輸送の特定の “7章 取扱い及び保管上の注意” の記載による。
安全対策及び条件：

15. 適用法令

消防法： 危険物・第4類引火性液体・第3石油類非水溶性液体
毒劇法： 非該当
安衛法： 非該当
化審法： 一般化学物質から構成されている
PRTR法（化管法）： 非該当
水質汚濁防止法： 有害物質を含有していない

16. その他の情報

参考文献等： 化審法の既存化学物質 安全性点検データ集（化学品検査協会）
国際化学物質安全性カード 日本語版（化学工業日報社）
環境化学物質要覧（環境庁環境化学物質研究会）
新版危険・有害性便覧（中央労働災害防止協会）
RTECS (U.S. DEPARTMENT OF HEALTH AND HUMAN SERVICE)

免責文： 記載内容は現時点で入手できた情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。危険有害性の評価は、今後の新しい知見で改訂されることもあります。また、記載事項は当製品についての通常の取扱いを対象にしており、特別な取扱いや組み合わせの場合は用途・用法に適した安全配慮の上お取扱い願います。